



広報

みんなで作ろう！びらとりの未来（あした）！

びらとり

No.757 2026.

8・9



8月23日 チャサンケ

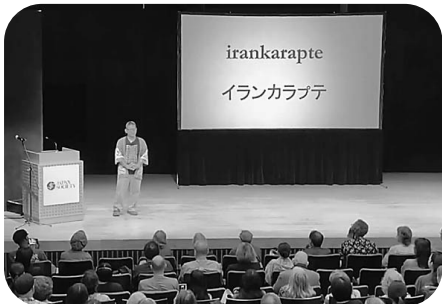
令和8年度アイヌ政策推進交付金事業 ジャパン・ソサエティ派遣事業

7月20日(月)から25日(土)、8月10日(月)から15日(土)の2回、米国・ニューヨークで、アイヌ政策推進交付金事業「ジャパン・ソサエティ派遣事業」が実施されました。

故 萱野 茂 氏の生誕100周年を記念し、ジャパン・ソサエティが開催した「アイヌ・サマー・フェスティバルーアイヌの物語、文化、そして伝統」に、第1回・第2回それぞれ15名、計30名が参加し、遠藤町長、宇南山 嘉宣 平取アイヌ協会会長をはじめ、平取アイヌ文化保存会、二風谷民芸組合、二風谷アイヌ語教室、町職員がアイヌ文化を紹介しました。

会場では、古式舞踊の披露や映画「Ainuーひと」の上映をはじめ、第1回では木彫り体験や伝統料理の実演・試食、第2回ではアイヌ文様の刺繍やアイヌ語のワークショップなどを行い、言語や生活文化、精神文化など、アイヌ文化の魅力を発信しました。

参加チケットはいずれも完売となり、会場に訪れた多くのアメリカ人観客との交流を深めながら、ニューヨークの地で初めて平取のアイヌ文化を披露し、盛会のうちに終了しました。



在ニューヨーク日本国総領事館訪問
片平 聡 総領事・大使に「二風谷イタ」を贈呈



ジャパン・ソサイエティ理事長
ジョシュア・ウォーカー氏と懇談

「ジャパン・ソサエティ」とは…
1907年に設立された、ニューヨークを拠点に、日本と米国をはじめとする国際交流や相互理解の促進に取り組む非営利組織。
日本の芸術・文化、ビジネス・政策、教育など幅広い分野で、国際交流や対話の機会を創出するとともに、日本の文化や社会の魅力を世界に発信しています。

受け継ぐ・伝える・つながる アイヌ文化

平取町では、アイヌ文化の継承と発信、交流人口の拡大に向けた様々な取り組みを進めています。今年の夏も道内外へアイヌ文化の魅力を発信する機会が数多くありました。その中から3つの話題をご紹介します。

【受け継ぐ】

第57回 チップサンケ

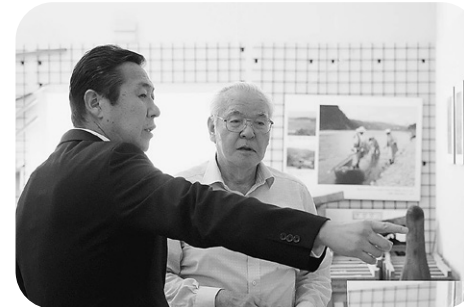


8月23日(日)、二風谷コタンおよび周辺施設で「チップサンケ（船おろしの儀式）」が開催され、道内外から約500人が訪れました。

二風谷コタンではカムイノミ（神への祈り）が行われた後、迫力あるアイヌの古式舞踊が披露され、最後には参加者が輪になって踊り、会場が一体となりました。二風谷ダム下流では川下りが行われ、快晴の空の下、丸木舟に揺られながら川の流れるを楽しむ参加者の笑顔が見られました。

【伝える】

黄川田 特命担当大臣 二風谷訪問



8月6日(木)、黄川田 仁志 内閣府特命担当大臣が、アイヌ施策の取り組みを視察するため、萱野茂二風谷アイヌ資料館や二風谷アイヌ文化博物館など二風谷コタン周辺施設を訪れました。

各施設の担当者から展示品に関連したアイヌの人々の暮らしの説明を受けたほか、貝澤 雪子 氏の工房では、実際にアットゥシ織りの様子を見学し、アイヌ文化への理解を深めていました。

視察後、黄川田大臣は「アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現に向け、アイヌ文化の復興・発展の拠点であるウポポイとアイヌ文化を継承する各地域とのネットワーク強化と連携づくりを一層推進していきたい」と述べられました。

【つながる】

セタプクサ号 運行開始

7月27日(月)から、札幌大通テレビ塔下ー新千歳空港ー平取町ー白老町を結ぶ「アイヌ文化拠点交流促進バス運行事業」セタプクサ号の運行が始まりました。

運行初日には、二風谷コタンでピラッキーが道内外からの参加者を出迎え、来町を歓迎しました。その後は町歩きガイドとともにアイヌの歴史や文化について学び、見て・聞いて・体験しながら、平取での時間を満喫していました。

本バスは9月22日(火・祝)まで、土日祝日に1日1往復で運行しています。平取町では二風谷コタンやびらとり温泉ゆから、白老町ではウポポイ（民族共生象徴空間）などを巡ります。



北大にアイヌ文化のモニュメント

8月20日(木)、北海道大学附属図書館で、工芸家 貝澤 徹 氏（二風谷）が制作した作品の完成・設置セレモニーが行われました。

モニュメントは木製で全長約3mの大きさで、「コタン」の暮らし、守り神であるコタンコロカムイ（シマフクロウ）、北大構内を流れるサクシュコトニ川などが掘り込まれています。

タイトルは、「ヤイコタンフナラ」（アイヌ語で「自らの故地を探る」の意味）。現在の北大構内で明治初期まで暮らしていたアイヌ民族が、当時の開拓使によって退去を余儀なくされたことから、北大アイヌ共生推進本部は「モニュメントがこの土地とのつながりを見つめ直し、どんな社会を築いていくのかを問いかけ続ける存在としたい」と説明しています。

北大附属図書館は、一般の方も入館可能ですので、お近くに行かれた際は、ぜひご覧ください



防災情報の取得方法について

～「自分に合った情報取得方法」の準備・登録をお願いします！～

大雨・地震などの発生時、迅速かつ正確な情報を得ることが避難行動につながります。
防災情報は様々な手段で発信されています。それぞれのスタイルに合わせて複数確保しましょう！

手段①：平取町公式LINE

【得られる情報例】

- 避難指示
- 避難所開設状況
- クマ出没情報
- 各種イベント情報
- ゴミ出しカレンダー

二次元コードを読み取り、友達追加・受信設定をして、町からのお知らせをぜひチェックしてみてください。



手段③：民間防災アプリ (Yahoo! 防災速報 など)

【得られる情報例】

- 豪雨予報雨雲レーダー接近通知
- 地震情報
- GPSと連動した「今いる場所」の警報

App Storeなどで「防災」や「防災速報」で検索！

手段②：平取町防災メール

【得られる情報例】

- 避難情報（高齢者等避難・避難指示等）
- 緊急事態、災害発生のお知らせ
- 地域の防犯、安全情報

二次元コードを読み取り、空メールを送信すると、「メールサービス本登録のご案内」が届きますので、本登録をしてください。



手段④：防災スピーカー

【得られる情報例】

- Jアラート（国民保護情報）
- 避難指示
- 特別警報

大雨や高気密住宅では聞こえにくい場合があります。

－ 自分から危険度をチェック！ おすすめリアルタイムWeb サイト －

「雨が増えてきた…」「近くの川が心配…」と思ったら、事前にスマホでチェック！

●川の防災情報

【得られる情報例】

- 河川のリアルタイム水位情報や降雨量情報
- ライブカメラ映像（現地に行かず安全に確認）



障害に備えて「町の情報（LINE / メール）」+「気象アプリ」など【複数組み合わせ】が一番安全です！

●キキクル（危険度分布）

【得られる情報例】

- 土砂災害・洪水・浸水の危険度マップ
- 5段階の色分けでリスクを直感表示



平取町の防災
ガイドマップ
はこちらから



町ホームページにも
各種情報サイトを
掲載しています。



日本各地のハザード
マップはこちらから
（重ねるハザードマップ）



《まちの政策》 町議会行政報告

行政報告

8月7日（金）に招集された第5回町議会臨時会の行政報告について概要をお知らせします。

【要望経過報告】

(1) 自由民主党北海道第9選挙区支部移動政調会要望

7月4日、国道237号歩道等の整備促進、道道の整備促進、河川改修の整備、アイヌ文化の総合的な伝承・発展への支援、公立高校の配置計画関連、平取養護学校の整備、物価高対策等について、町長、議長が出席し要望しました。

(2) 日高総合開発期成会要望

7月6日・7日、令和9年度日高地方の総合開発に関する要望として、災害に強く安全で安心して暮らせる地域づくり、農業・林業・水産業の振興、住みよい生活環境の整備、特色ある地域文化の創造、地域医療・福祉体制の整備など、また、高規格道路「日高自動車道」の早期整備に関する提案をしました。当町から国道沿線の電線の地中化またはオーバervライン、道道平取静内線、貫気別市街地の早期整備などを要望しました。

(3) アイヌ総合政策推進の要望
7月30日・31日に、町長と宇南山 嘉宣平取アイヌ協会会長が、アイヌ政策推進交付金の潤沢な予算配分、アイヌ伝統工芸「アットゥシ」の重要無形文化財の指定関係、国営公園の制度検討の提案等の要望を、道内選出国会議員、内閣府特命担当大臣、国土交通省北海道局長、内閣官房アイヌ総合政策室長ほか関係各所に行いました。

(4) 特別支援教育施策に対する要望

8月4日、特別支援教育の体制整備、義務教育等の充実、特別支援教育に関わる教師の専門性の向上、障がい児の重度・重複化への対応、施設設備の整備促進等を、文部科学省初等中等教育局長、大臣官房戦略官、特別支援教育課長に北海道特別支援教育振興協議会の会長として町長、ほか理事と要望を行いました。

7月29日・30日には、日高総合開発期成会の中央要望として、道への要望と同様の内容を要望しました。そのほか管内の特殊事情、財政事情について、強い馬づくりと馬産地活性化、持続可能な地域医療体制の構築、日高山脈襟裳十勝国立公園の「利活用」と「保全」に係る要望を行いました。

平取町の皆さんに知ってほしい

Instagramでも地域みらい留学生の日常生活や学校生活の様子を発信しています！ ⇒⇒⇒



地域みらい留学生のおはなし

おためし地域留学と、中学生からのうれしいプレゼント

おためし地域留学

7月18日～20日、平取高校への進学を考えている中学生を対象に「おためし地域留学」を開催しました。平取高校での授業やアイヌ文化体験、まち歩き、地域の方との交流などを通して、学校だけでなく平取で暮らす高校生活そのものを体験してもらいました。参加者からは「平取の雰囲気がよく分かった」「地域の人々が温かった」などの声が寄せられました。



中学生が描いた「平取の魅力」

参加者の中には、平取を訪れる前に、社会科の授業で「平取紹介ポスター」を制作してくれた中学生もいました。自然やアイヌ文化、農業、食など、事前に調べて感じた「平取の魅力」が、それぞれの視点で表現されています。「調べて知った平取」と「来てみて感じた平取」。実際に訪れ、人と出会ったことで、どんな新しい発見があったのでしょうか。中学生が考えてくれたポスターは、ふれあいセンターびらとりと役場庁舎内に掲示しています。ぜひご覧ください。

頑張る寮生にエールを！
（高校魅力化コーディネーター 土佐・横尾）✉：coordinator.biratori01@gmail.com

ポスター展示中！



8/5 第10回「びらとり馬の絵コンテスト」

馬への親しみや関心をもってもらおうと町内の小学生を対象に「びらとり馬の絵コンテスト」が実施され、応募作品64点のなかから会長賞ほか各賞の表彰が行われました。

- ◆平取町軽種馬生産振興会長賞「なかよし3姉妹」
川辺 和花さん（平取小学校4年生）
- ◆平取町長賞「至福の一杯」
赤石 優菜さん（平取小学校5年生）
- ◆平取町教育長賞「さくらの下で走る馬」
金澤 咲花さん（振内小学校5年生）
- ◆JAびらとり賞「原っぱにいる馬の親子」
二ツ川 凜空さん（二風谷小学校6年生）



8/6・7 昔懐かしい七夕まつり



8月6日(休)振内地区と7日(金)本町地区で、子どもたちを対象としたママcafé（代表 石黒 弘美 氏）主催の七夕まつりが開催されました。
夏休みの思い出づくりを目的に始まったこの企画には、北海道の七夕の風習である「ローソクもらい」を体験しようと、各地区合わせて約50名の子どもたちが集まりました。
子どもたちは提灯を手に「ろうそく出ーせ、出ーせよ」と元気な声を響かせ、商店街を歩いてチョコレートやガムなどの駄菓子を受け取り、地域の皆さんと交流をしながら、夏の伝統行事を楽しみました。

8/15 義経神社例大祭

8月15日(土)、本町地区で義経神社例大祭が開催されました。
神輿渡御では、「わっしょい!」と元気な掛け声とともに神輿が沿道を巡行し、道中では平取義経なるこ会による華やかなよさこいソーランの演舞も披露され、町内に活気をもらいました。
午後に行われたこども相撲大会では、子どもたちの元気な取り組みに会場から大きな声援が送られたほか、夜には2年ぶりとなる奉納花火も行われ、帰省中の家族連れなど多くの来場者でにぎわいました。



8/19 ラーメン山岡家×平取町 包括連携協定締結式



8月19日(水)、株式会社丸千代山岡家と平取町による包括連携協定締結式を実施しました。
全国にラーメン店等を200店舗展開する同社は、道内で長ネギの自社栽培地を検討した結果、平取町との連携に合意し、全国初となる自治体との包括連携協定が結ばれました。
協定により、農地の有効活用や雇用創出、地域交流、産地の情報発信、さらには平取町の食材を使ったコラボメニューの商品化など、さまざまな取り組みが期待されます。
同社は現在、紫雲古津、去場、荷葉の計15ヘクタールの農地を借り受け、来年の初収穫に向け準備を進めています。また、今後の収穫状況により、町内での作付け面積を順次拡大していきたいと話しています。

7/13 大型機械による小麦収穫

7月13日(月)、株式会社OKADA FARMで、大型農業機械「コンバインハーベスター」を使用した小麦の収穫が行われ、平取町では過去最高となる10アールあたり12.3俵の収穫量を記録しました。

刈り取り、脱穀、選別を1台で同時に行うことができる同機械の活用により、広大な農地での収穫作業の効率化や作業時間の短縮となったほか、土づくりや湿害対策など、日頃からの丁寧な営農努力と天候にも恵まれたことで、豊かな実りにもつながりました。



7/24 児童館ミニ夏まつり

7月24日(金)、町内小学校の終業式後、児童館でミニ夏まつりが開催されました。子どもたちは友だちと一緒に輪投げや釣りなどのゲームを楽しんだほか、シニアエブロンサークルの皆さんが手作りするフライドポテトやチキンナゲットを笑顔で味わい、思い出の夏休みのスタートとなりました。



7/25 第39回 ほろしりまつり

7月25日(土)、振内青少年会館裏駐車場で第39回ほろしりまつりが開催されました。7年ぶりに復活したやまめつかみ取り大会では、子どもたちが夢中になってやまめを追いかけ、家族から大きな声援が送られました。夜には打上花火が夏の夜空を彩り、多くの来場者が歓声を上げていました。



8/4 ホッカイドウ競馬「びらとり Day」



8月4日(火)、門別競馬場で丸ごと一日「びらとり Day」が開催されました。
会場では、びらとり和牛サイコロステーキの販売のほか、来場者に和牛カレーやトマトジュースが抽選で配布され、平取にちなんだレース名とともに町を魅力を発信しました。
最終レースの発走前には、平取中学校吹奏楽部による「残酷な天使のテーゼ」とファンファーレの演奏が披露され、会場からは大きな拍手が送られました。



わくわく自然体験スクール



7月28日(火)から29日(水)までの2日間、国立日高青少年自然の家で、町内小学校4・5年生を対象とした「わくわく自然体験スクール」が開催され、23名の児童が参加しました。

1日目は、グループで協力して TENT を組み立てたほか、サンドイッチ作りや沢のぼり、カレー作りなどを体験しました。夕食時に熊の目撃情報があったため、宿泊場所を施設内に変更しましたが、子どもたちは大部屋で仲間と過ごす時間を楽しみました。

2日目は雨天のため予定を変更し、体育館で体を動かした後、葉っぱじゃんけんや自然の葉を使ったポストカード作りに挑戦しました。予定変更もありましたが、子どもたちはさまざまな自然体験を通して楽しい2日間を過ごしました。



樽前山の頂上へ!! ～令和8年度小中学生登山～



8月3日(月)、小学4～6年生と中学生を対象とした「小中学生登山」を樽前山(苫小牧市・標高1,041m)で行い、児童・生徒10名と引率者5名が参加しました。

当日は晴天に恵まれ、心地よい風が吹く中、参加者同士で声を掛け合いながら登山道を進み、無事に東山山頂(標高1,022m)に登頂しました。山頂からは溶岩ドームや支笏湖、羊蹄山を望み、昼食を楽しみながら美しい景色を堪能しました。

帰りのバスでは「樽前山クイズ」の答え合わせを行い、樽前山の特徴や火山について楽しく学ぶなど、自然に触れながら体力にも挑戦する充実した夏休みの一日となりました。

8/21 道南地区協議会 消防実務研修会

8月21日(金)、日高町の富川複合施設「とみくる」で令和8年度道南地区協議会消防実務研修会が開催され、道南地区の消防本部などから約60人が参加しました。

研修では、美唄市消防本部 本田 雅洋氏を講師に、「ハイパフォーマンス CPR 研修会」を実施し、心肺蘇生における胸骨圧迫の質の向上をはじめ、救急隊員の役割分担、迅速な判断や意思疎通など、救急現場でのチームシンクロについて実践的に学びました。

参加者は、研修を通して救急現場での対応力を高め、救命率の向上につながる知識や技術を身につけました。



8/22 第37回 ふれあい広場



8月22日(土)、ふれあいセンターびらとりで第37回ふれあい広場が開催されました。

会場では、かき氷や駄菓子、コーヒーなどを販売するふれあいショップのほか、健康や薬に関する相談コーナーも設けられ、訪れた多くの町民でにぎわいました。

ステージでは、町内のダンスクラブをはじめ、最後には北海道警察音楽隊による吹奏楽の演奏が行われ、迫力ある演奏とカラーガード隊の華やかな演技に大きな拍手が送られ、笑顔あふれる一日を締めくくりました。

◆ 地域貢献活動に感謝します ◆



道路工業株式会社(代表取締役社長 中田 隆博氏)より、平取町国民健康保険病院の駐車場の白線補修整備をしていただきました。



登建設工業株式会社(代表取締役 登 孝志氏)より、親水公園内の水路部において、腐食した木柵の撤去・処分等環境整備をしていただきました。

◆ 地域おこし協力隊員 紹介 ◆



8月1日付で新たに 山室 満李衣さんが着任し、企業協働型(合同会社 katak) 職員として配属されました。



9月1日付で新たに 高橋 柚名さんが着任し、平取高校学生寮ハウスマスターとして配属されました。



昆虫教室 -カブトムシをみて、さわって-



8月27日(木)、紫雲古津小学校でカブトムシやクワガタに触れながら観察する「昆虫教室」が低学年の生活科の授業と放課後こども教室の時間に実施されました。

この教室は、同校の先生方による熱心な教育に触れ、子どもたちの教育に携わり、笑顔が見たいと集まった町民有志6名(代表 中田 亨氏)により、令和6年から実施されており、町内外で捕獲された約300匹の昆虫を学校で展示し、自然豊かな地域ならではの学びの場となっています。

子どもたちは餌のゼリーやバナナを与えたり、昆虫を手に乗せたりしながら生態を観察し、笑顔で身近な自然への関心を深めていました。

児童生徒芸術劇場 (小学生・中学生の部)



8月25日(火)、教育委員会主催の児童・生徒芸術劇場(小学生・中学生の部)が開催され、音楽企画LARGOの皆さんによる音楽公演を小・中学生が鑑賞しました。

ピアノ、バイオリン、ソプラノ歌手によるクラシックやオペラなど、普段触れる機会の少ない音楽を楽しんだほか、小学生は当日司会を務めた作詞作曲家の村中 亮彦氏が作成した「ヒコダンス」を踊り、中学生は生演奏に合わせて「旅立ちの日に」などを合唱しました。

会場が一体となって音楽に親しむ心に残るひとときとなりました。

第1回公民館講座

平取町の遺跡を知って、勾玉を作ろう ～さわって学ぶ! つくって学ぶ! 初めての考古学～



8月29日(土)、沙流川歴史館と北海道立埋蔵文化財センターの共催で、第1回公民館講座を開催しました。

前半は、土器や石器を実際に手に取りながら、平取町の古い遺跡について学び、後半は勾玉づくりに挑戦しました。子どもたちは、削って磨く作業に苦戦しながらも真剣に取り組み、完成した自分だけの勾玉を手にするとうれしそうな表情を見せていました。実際に土器や石器に触れ、勾玉をつくる体験を通して、歴史を身近に感じながら、楽しく学ぶことができました。

振内町民ラジオ体操100日大会が閉幕



5月24日(日)に開幕した「振内町民ラジオ体操100日大会」が、8月31日(月)に閉幕しました。42回目となる今年は例年に比べ天候にも恵まれ、参加者は毎朝元気にラジオ体操を行い、50日目には方言を取り入れたユニークな体操も行われました。また、昨年を上回る13名が100日間皆勤を達成し、最終日には約40名が参加するなど、地域が一体となって100日間の取り組みをやり遂げ、健康づくりと住民同士のつながりを感じる大会となりました。

平取町コミュニティ・スクールレター

地域と学校、びらとりのみらい

【平取小学校】子どもたちの安全を見守る活動

平取小学校運営協議会では、「学校教育活動」「地域連携」「安全・安心の推進」の3つを柱に、協議会で地域と学校の連携について話し合い、「LINE 平小コミュスクメンバー(地域ボランティア)」の協力を得ながら、さまざまな活動に取り組んでいます。

特に「安全・安心の推進」では、春・夏・冬休み明けの通学路の街頭見守りや、7月から9月に行われるプール授業でのプールサイドからの見守りを実施しています。

これらの活動は、子どもたちの安全を守る大切な取り組みであり、学校にとっても大きな支えとなっています。

今後もコミュニティ・スクールと学校が連携し、子どもたちが安心して学び、活動できる環境づくりを進めていきます。



図書館へいこう

○開館時間 火～金曜日 9:30～18:00
土・日曜日 9:30～17:00

○休館日 月曜日・祝日
※月曜日が祝日の場合は、
その翌日も休館



新着図書

★他にもあります
★オンラインで検索できます

- | | |
|---|--|
| 【一般書（小説・エッセイ）】
『ハヤブサ消防団2 森へつづく道』／池井戸潤
『傾斜のマリア』／恩田陸
『縁切りの宿 桂屋調べ帖』／川越宗一
『今夜も、ぼっち飯』／太田紫織ほか
『夜想い』／住野よる
『夜の喜劇』／東川篤哉
『銀河ホテルの居候5 あのときの夕日を胸に』／ほしおさなえ
『王国』／湊かなえ
『この家に生まれたことが失敗だった?』／群ようこ
【児童書】
『うみにすむにんじゃタコ』／中村武弘
『13歳からの「天動説」と「地動説」のことがすべてわかる本』／大朝由美子
『隠れ最弱動物図鑑』／今泉忠明
『ありがとうをはんぶんこ』／工藤純子
『成長する有機体』／歌代朔
『ベック ぼくたちの小川をすくえ!』／アンソニー・マゴワーン | 【一般書（その他）】
『ことばで伝える』ができない子どもたち』／石井光太
『どうぶつ法律相談所』／中間隼人
『定年後の働き方で知りたいことが全部のってる本』／西村栄子
『60歳からの冷凍作りおき完全食』／荻野恭子
『低山遭難』／羽根田治
『文法、どこにありますか?』／高田祥司
『罠追人たち』／黒田未来雄
『大地が躍動! 日高・十勝の地形と地質』／前田寿嗣
【絵本】
『オスカルのごちそう』／ラーシュエリク・エリクスソン
『おとうさんはウルトラマン』／みやにしたつや
『トリのとりがえ』／内田麟太郎・文 高島那生・絵
『はなちょうちんぷぶうー』／矢野アケミ
『まてるもん』／はせがわゆうじ
『ライオンのおばけキャンプ』／さかとく み雪 |
|---|--|

★★★ 図書ワゴン運行予定 ★★★

■次回 10月1日(木)

【振内地区】 10:00～12:00 山の駅ほろしり館
【貫気別地区】 14:00～16:00 貫気別生活館

■貸出期間は次回の巡回日までになります。

■毎月第一木曜日に運行します。

■貫気別支所・振内支所（青少年会館）で返却できます。



図書館カレンダー

9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

宮西達也 絵本展 開催中

9月26日の図書館講座に合わせて、絵本作家・宮西達也さんの絵本を展示しています。
「おまえうまそうだな」シリーズや「おとうさんはウルトラマン」シリーズ、「ちっちゃなトラックレッドくん」など、子どもたちに人気の作品がたくさんあります。展示している絵本は貸出もできます。

■場所：図書館カウンター前
■期間：9月1日(火)～9月30日(水)



●オンライン予約ができます●

「ログインパスワード」は図書館のカウンターで発行しています。

【お問い合わせ】平取町立図書館

□ 電話 01457-4-6666
□ FAX 01457-4-6871
□ メール risu2@guitar.ocn.ne.jp
■Web ■携帯



すこやかだより

保健福祉課からのお知らせ

がん検診、受けていますか？ ～検診で早期発見！～

朝夕涼しくなりましたが、皆さん、体調はいかがでしょうか。今回のテーマは「がん」です。

『がん』とは・・・

何らかの原因で、体の中の細胞の遺伝子に傷がつき、異常な細胞になり（がん細胞）増殖し続ける病気です。増えたがん細胞は塊となり、組織を壊したり（浸潤）、血液に乗って全身に広がり、体の正常な働きを奪っていきます。



肺がん

- ①原因：喫煙（最大危険因子!）、受動喫煙、加齢、アスベスト、大気汚染、家族歴
- ②症状：長引く咳、痰、血痰、胸の痛み、体重減少
- ③予防：禁煙、受動喫煙を避ける、バランスの良い食事、適度な運動

※肺がんは早期には症状が出にくいいため、定期的な検診が重要です。

胃がん

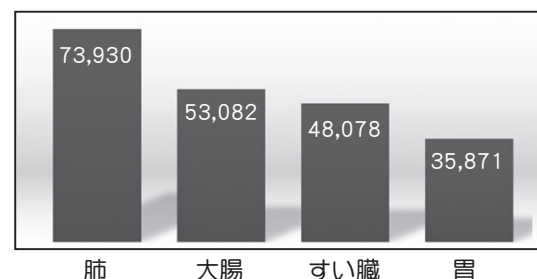
- ①原因：ピロリ菌感染、喫煙、塩分過多、加齢
- ②症状：胃痛、胃もたれ、食欲低下
- ③予防：ピロリ菌の除菌、禁煙、減塩

【部位別死亡数】

日本の死因の割合の約2割はがんで、死因の第1位です。令和7年度のがんの部位別死亡率は、1位 肺がん、2位 大腸がん、3位 すい臓がん、4位 胃がんとなっています。

平取町は、肺がん、胃がん、すい臓がんの死亡率が、全国平均を上回っています。

令和7年 悪性新生物＜腫瘍＞の主な部位別にみた死亡数
（出典：令和7年人口動態統計月報年計）



【お問い合わせ】 保健福祉課 保健推進係 Tel 4-6112（ふれあいセンターびらとり）

大腸がん

- ①原因：加齢、飲酒、喫煙、肥満、運動不足
- ②症状：血便、便秘や下痢、便が細くなる、腹痛、貧血
- ③予防：野菜や食物繊維をとる、適度な運動、節酒、禁煙

すい臓がん

- ①原因：喫煙、糖尿病、慢性膵炎
- ②症状：腹痛、背部痛、黄疸、食欲低下、体重減少
- ③予防：禁煙、適正体重の維持、糖尿病の管理

胃・肺・大腸がんは、早期発見・早期治療をすることで、確実に死亡率を下げる事が科学的に示されています！

検診を受けましょう!!

がんの発見は、自覚症状がなくても定期的に検診を受けることが重要です。

◇検診内容 肺がん… 胸部レントゲン検査
大腸がん… 便潜血検査
胃がん… 胃内視鏡検査
またはレントゲン検査

皆さんの健康を守る第一歩は、がん検診を受けることです。定期的に健康チェックの機会としてご活用ください。

◇平取町集団がん検診のお知らせ
10月26日(月)～28日(水) ふれあいセンターびらとり
10月29日(木) 貫気別生活館
10月30日(金) 振内町民センター

